

## ノーリフティング宣言

ノーリフティングとは、人の手で利用者の体を持ち上げたり、抱き上げたり、ベッドの上で引きずって移乗しないことです。

リフトなどの福祉機器や福祉用具を活用して職員の身体的負担の軽減のための方法です。褥瘡など利用者の二次障害を防止するためにもなります。

リフトやスライディングボードを使うことで利用者さんとのコミュニケーションの時間が増えたり、その日の状態を観察できるようになったり、ケアの質が向上するという面もあります。

青谷学園では、平成27年4月に腰痛予防対策チームを結成し、ノーリフティングを進めてきたところです。すでに、スライディングボードや移乗リフト、特殊浴槽を使ってノーリフティングケアは完成されています。

「ノーリフティング宣言」は、平成28年に高知県が全国で初めて行いました。それは介護職員を確保するための施策でした。

今般、当法人も改めて「ノーリフティング宣言」を発表して、これを広く普及し求人につなげたいと考えるものです。

### ノーリフティング宣言

持ち上げない！ 抱き上げない！ 引きずらない！ 中腰にならない！